

電気設備の高度化・多様化に伴い、トラブルも広範囲化、複雑化する傾向にあり、電気設備保全業務の重要性が、従来にも増して高まっています。

本講習会では、**電気設備の保全担当者が電気設備の保守やトラブル対応をするために、知っておくべき基礎的な内容**について、専門家が分かりやすく、かつ詳細に解説します。

＜対象者＞

電気設備の保全業務に従事されている方


電気設備の保全担当者には、保守やトラブル対応において、的確かつ安全に対処する技術が要求されます。



【実施例】 【1日目】

内 容	備 考
○自家用受電設備の基礎 <ul style="list-style-type: none"> ・自家用受電設備の計画 ・自家用受電設備の容量 	 <p>キュービクル式高圧受電設備</p>
○自家用受電設備の構成機器 <ul style="list-style-type: none"> ・変圧器、遮断器、断路器、負荷開閉器、避雷器、高圧カットアウト、コンデンサ、計器用変成器 	
○自家用受電設備の主回路結線 <ul style="list-style-type: none"> ・C B形自家用受変電設備 	
○受電室の施設と機器配置 <ul style="list-style-type: none"> ・おもな施設 ・保守面からみた機器配置 	
○キュービクル式高圧受電設備 <ul style="list-style-type: none"> ・外形寸法 ・保守点検からみた構造 ・P F・S形、C B形 	
○自家用受電設備の保全 <ul style="list-style-type: none"> ・自主保安体制 ・保守点検 ・電気主任技術者の職務 	

【2日目】

内 容	備 考
○自家用受電設備の疑問解消 <ul style="list-style-type: none"> ・計画(機器選定、受電方式、契約電力、騒音規制ほか) ・設備(変圧器過負荷、保護方式、自家発電設備ほか) 	
○トラブル事例とその対策 <ul style="list-style-type: none"> ・締付不良、異物侵入、絶縁物損傷、水もれ油もれ、温度上昇、異音・振動、電圧変動、さび・腐食、機器トラブル、操作回路トラブル、ケーブル劣化、保護継電器誤動作、瞬時電圧降下 	

(注) 内容の一部が変更となる可能性があります。

※詳細は約3ヵ月前を目途にホームページ等でご案内いたします。

受付中の講習会はこちら⇒ <https://www.jea-chugoku.jp/kosyu/ichiran.php>